

ドクササコ(毒きのこ)による食中毒が発生しました

平成 25 年 10 月 30 日

魚沼地域振興局健康福祉部

発生概要	平成 25 年 10 月 30 日、午前 9 時頃、長岡市内の医療機関から魚沼保健所に「ドクササコによるきのこの食中毒患者 1 人を診察した」旨の連絡があった。	
	魚沼保健所が調査した結果、魚沼市在住の患者を含む家族 2 人(男性 70 代 1 人、男性 50 代 1 人)が 10 月 19 日及び 21 日に同市内で「ナラタケ」と思って採取したきのこを、10 月 19 日から 23 日にかけて自宅で味噌汁に調理し食べたところ、家族の内 1 人が 22 日夕方から手足の痛みの症状を呈して 23 日午前に医療機関を受診し、もう 1 人が 25 日夜から手足の痛み・しびれを呈していたことが判明した。	
	きのこの残品及び採取場所で発生しているきのこを専門家が確認したところ、有毒なきのこの「ドクササコ」であることが判明したこと、患者の症状がドクササコによる症状と一致すること及び医師の届出があったことから食中毒と断定した。	
	なお、患者 1 人は入院加療中である。	
	摂食者数	2 人
	患者数	2 人(男性 70 代・男性 50 代)
	治療を受けた者	1 人
患者の状況	入院した者	1 人
	死亡した者	0 人
	症状	手足の先端から肘・膝にかけての痛み・しびれ
原因食事	きのこの味噌汁	
病因物質	植物性自然毒(ドクササコ)	



ドクササコについて(特徴)

- ・傘の大きさ: 径 5 ~ 10cm。傘は、橙褐色 ~ 黄褐色で中央部が、くぼんでいる。傘のふちが内側へ巻く。初め中央のくぼんだ「まんじゅう」形、後に開いて「じょうご」形となる。表面は、平滑。ひだは、傘より薄い色で、密である。柄は、繊維質で中空で、縦に裂けやすい。
- ・広葉樹林や竹やぶの地上に発生する。
- ・カヤタケ・ナラタケ・ホテイシメジ・アカハツ・チチタケと間違えて食中毒になることが多い。
- ・誤食すると食後 6 時間から 1 週間程経過してから、手足の先が赤く腫れ、激痛が伴いこの症状が 1 か月以上続く。

毒きのこによる食中毒に注意しましょう

- ・種類の判定ができないきのこは、「採らない」「食べない」「人にあげない」でください。
- ・確実に鑑別できる専門知識のある方に鑑別してもらいましょう。
- ・保健所でも相談を受け付けています。

【ドクササコ 厚生労働省ホームページ】 http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/poison/kinoko_det_08.html

平成 25 年 新潟県内食中毒発生状況(本日発表分を含む。)

	発生件数	患者数
10 月 30 日現在	19 件	367 人
昨 年 同 期	15 件	252 人

上記のうち、きのこによるもの(本日発表分を含む。)

	発生件数	患者数
10 月 30 日現在	4 件	13 人
昨 年 同 期	3 件	11 人

この食中毒の担当事務所及び問い合わせ先

魚沼保健所(魚沼地域振興局健康福祉部内)

衛生環境課 夏井

直通 025-792-8619

E - mail; ngt111520@pref.niigata.lg.jp

ドクササコの写真が必要な場合はメールをお願いします。

本日の報道対応は午後 8 時までとさせていただきます。